

**■YKK AP製ガラスの仕様別日射熱取得率**  
(平成25年省エネ基準／認定低炭素住宅基準用)

当一覧表は、「住宅に係るエネルギー使用の合理化に関する設計・施工及び維持保全の指針 別表第7」及び、独立行政法人 建築研究所Webサイト内「住宅・建築物の省エネルギー基準及び低炭素建築物の認定基準に関する技術情報」に準じています。

※窓のガラスの日射熱取得率は、JIS R 3106 に定める測定方法により求めた日射熱取得率とするか、又は、当該ガラスの仕様に応じ、下表で定める日射熱取得率を用いることとする。

ガラスの仕様※1			日射熱取得率			YKK AP製 ガラス
			ガラスのみ	和障子	外付けブラインド※2	
三層 複層	Low-E三層複層ガラス (Low-Eガラス2枚)	日射取得型	0.54	0.34	0.12	・APW 430/431 ・APW 330/331真空トリプルガラス
		日射遮蔽型	0.33	0.22	0.08	
	Low-E三層複層ガラス (Low-Eガラス1枚)	日射取得型	0.59	0.37	0.14	・APW 430/431
		日射遮蔽型	0.37	0.25	0.10	
三層複層ガラス			0.72	0.38	0.18	—
二層 複層	Low-E複層ガラス	日射取得型	0.64	0.38	0.15	・Low-E複層ガラス(断熱タイプ)ニュートラル
		日射遮蔽型	0.40	0.26	0.11	・Low-E複層ガラス(断熱タイプ)ブルー ・Low-E複層ガラス(断熱タイプ)ブロンズ ・Low-E複層ガラス(遮熱タイプ)ブルー
	遮熱複層ガラス	熱線反射ガラス1種	0.61	0.33	0.14	—
		熱線反射ガラス2種	0.38	0.24	0.10	
		熱線反射ガラス3種	0.16	0.12	0.06	
		熱線吸収板ガラス2種	0.52	0.28	0.12	
複層ガラス、単板ガラス2枚			0.79	0.38	0.17	・一般複層ガラス
単層	単板ガラス		0.88	0.38	0.19	—
	熱線反射ガラス	1種	0.68	0.35	0.16	—
		2種	0.49	0.30	0.13	
		3種	0.23	0.20	0.08	
熱線吸収板ガラス2種			0.63	0.34	0.15	—
二層 窓	単板ガラス+単板ガラス		0.80	0.39	0.17	—
	単板ガラス+複層ガラス		0.72	0.39	0.17	—
	単板ガラス+Low-E複層ガラス	日射取得型	0.60	0.38	0.14	—
		日射遮蔽型	0.46	0.34	0.12	

※1 ガラスの仕様において

- ・三層複層、二層複層、二層単板2枚、二重窓において、中空層の仕様(幅、封入層等の気体種別)は問わない。
- ・Low-E三層複層ガラスとは、少なくとも一枚のガラスにLow-Eガラスを使用した3枚の板ガラスと2つの中空層からなる複層ガラスをいう。
- ・Low-E複層ガラスとは、少なくとも一方のガラスにLow-Eガラス(ガラス表面に低放射膜を配したガラス)を使用した2枚の板ガラスと1つの中空層からなる複層ガラスをいう。
- ・日射取得型とは、JIS R 3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.50以上のものをいう。
- ・日射遮蔽型とは、JIS R 3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.49以下のものをいう。
- ・単板ガラス(複層及びLow-E複層に組み合わせる透明ガラス含む。)とは、JIS R 3202に定めるフロート板ガラス及び磨き板ガラス、JIS R 3203に定める型板ガラス、JIS R 3204に定める網入板ガラス及び線入板ガラス及びそれらからなるJIS R 3206に定める強化ガラス、JIS R 3222に定める倍強度ガラス、JIS R 3205に定める合わせガラスをいい、それらの板ガラスに表面加工による光学的な拡散性を持たせたもの(刷リガラス、フロスト加工、タペストリー加工)を含む。ただし、ここにJIS R 3208に定める熱線吸収板ガラス、JIS R 3221に定める熱線反射ガラスは含まない。

※2 YKK AP製品では、多機能ルーバー(アルミルーバー)、電動外付けブラインドが適合します。